

第1学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 共に生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

- ・自分の心にある差別意識と向き合うなかで、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。
- ・互いを認め合い支え合いながら、共に高め合う集団になろうとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

- ・道徳科「心やさしい子どもたちへ」（わたしの願い）……………1時間
- ・総合的な学習の時間「日本の人権獲得の歴史 中世・近世」（わたしの願い）…1時間
- ・総合的な学習の時間「つなげ 三番叟まわしのころ～門に立ち言祝ぐ人々～」（わたしの願い）…1時間
- ・総合的な学習の時間「三番叟講演会」……………2時間
- ・道徳科「自分以下を求める心」（わたしの願い）……………2時間

(2) 現在の学習

- ・道徳科「人の値うち」（わたしの願い）……………3時間
（本時3/3）

(3) これからの学習

- ・総合的な学習の時間「災害と人権」（わたしの願い）……………5時間

5 本時の学習

(1) 目 標 作者の思いから偏見や差別について理解し、自分の心と向き合い、差別をなくし
いこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-(11) 公正、公平、社会主義
-------------	-------------------

(2) 普遍的な学習テーマ 自分の心と向き合う

個別人権課題名 同和問題

(3) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時の学習について振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。	○人を見た目や肩書き、生まれた場所によって判断することが差別意識を生んでいることを確認させる。
江口いとさんが「人の値うち」を通して伝えたかったことは何だろう。	
2 江口いとさんが言う「あやまち」とはどういうことか考える。	○思い込みや偏見が部落差別を生む原因になっていることに気付かせる。 ①③
3 「人の値うち」を通して、江口いとさんが私たちに教えてくれることについて考える。	○江口いとさんが教えてくれることを考えるなかで、自分自身が今後どのように生きていくかを考えさせ、差別をなくしていこうとする意欲を高める。 ②③

(4) 評 価

- ・生まれた場所によってその人の値うちを決めることこそが部落差別であることを理解することができたか。 【知識的側面】①
- ・自分自身の心と向き合い、自分の中にある差別心に気づき、自分にできることを考え、行動していこうとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②
- ・仲間の意見を受け止め、意見を伝え合うことができたか。 【技能的側面】③